

## 地域シンポジウム報告書

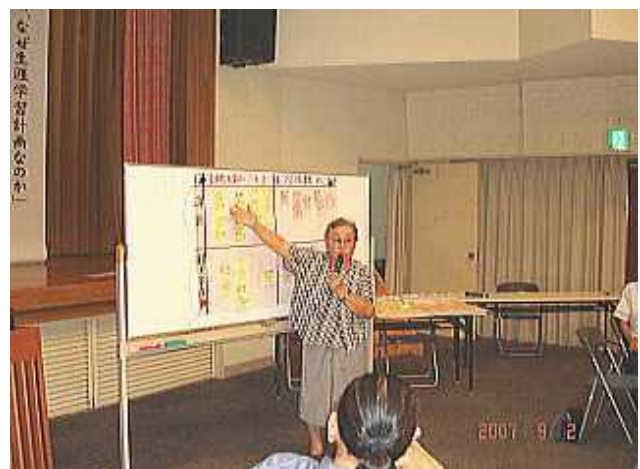
大塔地域シンポジウム	
日時	平成19年9月2日(日) 午後1時30分～午後4時
場所	大塔総合文化会館
参加者	市民 52 名
	講師:堀内秀雄教授 オブザーバー参加:和歌山大学生涯学習教育研究センター-中筋章夫事務室長 わかやまNPOセンター 西川和弘事務局長
	事務局: 後藤大塔教育事務所長、長主任、高根主査、中平主事 山本分館長(三川) 生涯学習課～藤若課長、小川係長、三栖係長、瀬戸主査
テーマ	地域のことを話し合しましょう

## シンポジウム進行次第

	内容
	<p>開会あいさつ 大塔地域シンポジウム実行委員会 委員長 田中 功</p> <p>ミニ講演 「いま、なぜ生涯学習計画なのか」 講師:和歌山大学生涯学習教育研究センター 堀内教授</p> <p>ワークショップ テーマ:「地域の課題・公民館の課題について」 「課題解決策・提案等について」 個人ワーク グループ討議 個人ワーク 意見交換と集約 報告 まとめ</p> <p>閉会あいさつ 大塔地域シンポジウム実行委員会 副委員長 城 榮一</p>

# 大塔地域シンポジウム

日時 H.19.9.2  
場所 大塔総合文化会館



## 地域シンポジウム報告書（班別）

大塔地域シンポジウム  
A班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護認定のない人にも集会所などに寄って昔の話をしながら食事をするようにしてほしい。</li> <li>・ゴミ問題で不法投棄が多い。近所でもゴミ焼きが多い。</li> <li>・地域環境として非行の防止、人権意識の向上をしてほしい。</li> <li>・学校関係が遠くなった。</li> <li>・生涯学習に関する関心がでてきた。</li> <li>・道路、交通安全面で、学校の前が直線で危険になった。</li> <li>・都会への流失。通学と就職がすべて都会なので、地元で働く場所がなく就職が都会になってしまう。</li> <li>・中学校の体験学習がないのか。</li> <li>・観光客や釣り客が増えてゴミが増大。ゴミのポイ捨てが多くなった。</li> <li>・落葉など焼けない環境になってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの廃止により、各旧村内での交流が出来ない。</li> <li>・図書室の土曜日を含めて、日曜日の開放を望みたい。</li> <li>・公民館事業のマンネリ化がある。</li> <li>・昼間に仕事をしているのでサークルを夜実施してほしい。</li> <li>・図書館の充実と職員の専従化を希望。</li> <li>・世代を超えた交流で高齢者の特技を発掘し、講師になってもらい地域の活性化を図ってほしい。</li> <li>・公民館職員が少ない。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの不法投棄で子供への教育より大人の教育をすべき。意識の向上(ゴミ) 子供の時代から家庭から教育する。</li> <li>・生涯学習で防災を。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算問題があるが、土、日の開放を。職員か、ボランティアによって開放してはどうか。</li> <li>・幅広い世代の会員を募集を行う。</li> <li>・高齢者の特技を発掘。</li> <li>・職員の増員。</li> </ul>
その他の意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の市町村では図書館にゆったりとした憩いの場がある。</li> </ul>

## 地域シンポジウム報告書（班別）

大塔地域シンポジウム  
B班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜が作れない。</li> <li>・野生動物の駆除。(さる、いのしし、しか)</li> <li>・三川福祉センターの入所者が少ない。</li> <li>・飲料水施設整備。</li> <li>・耕作放棄地が増えている。</li> <li>・自然は豊であるが道が良くないため生きてこない。</li> <li>・地域が広域で人口が少ないためつながりが希薄。</li> <li>・高齢者の方が自由に利用できる公共の交通機関が少ない。</li> <li>・過疎化・高齢化が進んでいる。</li> <li>・仕事がないため若い人がいない。</li> <li>・若者に限らず就職先がない。</li> <li>・地域での話し合う(会合)が少なくなり交流がなくなってきた気がする。</li> <li>・新しい地域の名前を(今無名)昔の名前で。</li> <li>・若い人向けの(30代、40代)PR。(広報)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併して各種施設の使用料が高くなった。</li> <li>・サークル等に参加したくても参加できない。(時間、場所等)</li> <li>・サークル活動のPR。(多数の参加)</li> <li>・多くの世代に参加してもらえるような企画。</li> <li>・広域のために1ヶ所に集まりにくい。</li> <li>・参加者が少ないので、内容も限られてくる。</li> <li>・もっと子供向けの事業をしてほしい。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害駆除対策。</li> <li>・狩猟期間の延長、狩猟方法の規制緩和。</li> <li>・診療、買い物等への支援。</li> <li>・飲料水の施設整備については、地区住民の相互理解が必要であり、良好な住民関係の構築が大切である。</li> <li>・道路の整備をして豊かな自然を生かす。</li> <li>・幹線道路の整備。</li> <li>・住民バスの導入等を検討してはどうか。</li> <li>・公営の住宅を増やして若者の定住を促す。</li> <li>・地場産業を増やし、人口増をはかる。</li> <li>・田辺市(口熊野)鮎川1958。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理者が常駐しない施設については、使用料を再検討してもいいのでは。</li> <li>・施設の良し悪しと、地域によって値段の差を。</li> <li>・どんな内容がよいかアンケートをとる。「広報誌」で内容、企画を募集してみてもいいのでは。</li> </ul>
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育所の開設場所を小学校でできないか。場所の選定。</li> <li>・若者を多くするために仕事を増やし、子供を増やす。</li> </ul>	

# 地域シンポジウム報告書（班別）

大塔地域シンポジウム  
C班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に対する取組を考えてほしい。</li> <li>・高齢者の1人住まいが多い。</li> <li>・高齢者との交流の場にあまり参加できない。</li> <li>・高齢者の健康に関する問題。</li> <li>・子供が少なくなっている。</li> <li>・交通の便が悪い。</li> <li>・地域が広すぎて便利が悪い。</li> <li>・富里、三川、鮎川間のバスの運行。</li> <li>・若者が都会へ出て行ってしまふ。</li> <li>・職場が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に対する健康と体育関係。</li> <li>・事業参加者の減少。</li> <li>・事業への参加者のマンネリ化。</li> <li>・1人で何役も持っている。(各種団体の役員についてもいつも同じメンバーが多い。)</li> <li>・若者にも目を向けよう。</li> <li>・コミュニティバスの利用方法。</li> <li>・公民館が子供にとっての涼みの場となっている。</li> <li>・サークルにも参加したいが時間がない。</li> <li>・地域おこしの行事を多くする。</li> <li>・親から子に伝える活動。</li> <li>・公民館分館とどのようなつながりをもっていけばよいのか。</li> <li>・住民にとっての社会教育のおさえが低い気がする。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅の建築。(竹の又地区は若者が増加。)</li> <li>・道路整備。(三川地域を特によくする。)</li> <li>・企業の誘致。働く場所を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代の育成。同じ人ばかりに役をもってもらうのではなく、若い人にもしてもらえるように育成していく。</li> <li>・コミュニティバスの運行。</li> <li>・若者の流出を防ぐため世代間交流。</li> </ul>
その他の意見		

## 地域シンポジウム報告書（班別）

大塔地域シンポジウム  
D班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が少ない。</li> <li>・子供が少ない。</li> <li>・スクールバス通学で子供の体力の低下。</li> <li>・1人暮らしの高齢者が多い。</li> <li>・地域でのつながりがなくなっている。</li> <li>・子供はスクールバスで通学するので大人とふれあえない。</li> <li>・二次集落再編が必要か。</li> <li>・働く場がない。</li> <li>・後継者の不足。</li> <li>・地場産業。</li> <li>・道路の改良。</li> <li>・台風の被害。(道路が悪い。)</li> <li>・休耕田が多い。</li> <li>・橋の下の川遊びが多いがゴミ処理が悪い。</li> <li>・猫を捨てる人が多い。</li> <li>・公園に犬のフンが多い。</li> <li>・農作物への被害。(猪と猿に野菜を食べられる。)</li> <li>・水道が心配。</li> <li>・地域住民の防災意識が低い。</li> <li>・地域を守る後継者がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富里、三川公民館主事がなくなったので、置いてほしい。</li> <li>・公民館のスタッフが少ない。</li> <li>・予算が少ない。</li> <li>・公民館へ行く交通手段がない。(三川)</li> <li>・グラウンドは草原となっている。</li> <li>・公民館活動が少ない。(三川)</li> <li>・会議が多い。</li> <li>・活動を計画しても参加者が少ない。(三川)</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Uターン、出産奨励金の復活。</li> <li>・あすなるさんや小学校と連携して活動する。</li> <li>・地域での助け合い。自主防災について。地震・風水害等において地域の孤立も考えられます。自主防災は1に自助、2に地域、3に公助の順番となりますので、各団体の横のつながりが重要となります。今回のような話し合いの場を活用し、地域で何ができるかみんなで見守り行動に移すことが大切です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館主事を連絡所に配置する。</li> <li>・専門職の公民館長を置く。</li> <li>・住民が知恵を出し合う。</li> <li>・公民館(三川)運営委員会を作る。</li> </ul>
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場の空部屋の活用。</li> <li>・三川保育園の活用。</li> <li>・大塔の花火大会の時に盆踊り大会を開いては。</li> <li>・Uターン、Uターンで田んぼ作り。(公民館主催)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に参加できる環境作り。</li> <li>・みんなから良い本を集めてはどうか。</li> <li>・地区ごとの入り口に看板が必要。</li> </ul>

## 地域シンポジウム報告書（班別）

大塔地域シンポジウム  
E班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口の減少。(特に若者)</li> <li>・林業衰退。</li> <li>・道路が狭い。整備されていない。</li> <li>・若者の働く場が少ない。</li> <li>・地域が広く集落が分断。(住民が分断されてしまう。)</li> <li>・人が集まる行事が少ない。</li> <li>・住民の高齢化。</li> <li>・田畑の荒れ。</li> <li>・ゴミの増加、ちらばり。</li> <li>・地区による人口のかたより。</li> <li>・地域の方々を知る機会が少ない。</li> <li>・高齢者の楽しみが少ない。</li> <li>・共働き家庭の増加で生涯学習に参加する余裕がない。</li> <li>・地場産業が少ない。</li> <li>・若い人は車に乗って自分たちの楽しみを優先している。</li> <li>・森林保護。(環境)</li> <li>・地域にある施設を活かしきれてない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事への集まりが少ない。</li> <li>・広報配布の仕方を工夫。(読んでない人がいる。)</li> <li>・富里、三川地域から市内、鮎川まで遠いので行事に参加しにくい。</li> <li>・学校・公民館、共に忙しすぎる。</li> <li>・公民館の人手が少なく、地区単位で行事を回しきれない。</li> <li>・住民にもっと積極的参加をうながす説明をするべき。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の有効利用。(企業の森)</li> <li>・幹線道路の整備。</li> <li>・企業の誘致。</li> <li>・住民バスを走らせる。(三地域)</li> <li>・高齢者が参加できる事業を。(有機野菜作りなど)</li> <li>・大塔の自然や歴史を活かした観光、産業作り。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内放送の活用。</li> <li>・広報誌の充実を図る。地域がよくわかるようなもの。</li> <li>・地域活動を知ってもらう。様々なニーズに応える行事計画を。</li> </ul>
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと教育に力を入れ、ふるさとに誇りを持つ子供づくり。</li> </ul>	

## 地域シンポジウム報告書（班別）

大塔地域シンポジウム  
F班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミを捨てる。マナーが悪い。</li> <li>・鮎が釣れない。</li> <li>・休耕田が多い。</li> <li>・少子化、ひとり暮らしの老人問題。</li> <li>・働く場所が少ない。</li> <li>・病院、学校が遠い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金がない。</li> <li>・富里、三川の活動が少ない。</li> <li>・公民館の活動がわからない。</li> <li>・スポーツ大会だけでは参加する人が限られ、だんだん少なくなってくる。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EM菌。(下附)</li> <li>・みんなが環境を考えていく。地域でも学校でも。</li> <li>・休耕田にやぎを。</li> <li>・魅力ある街作りを。みんなを引っ張っていけるリーダーを育てる。</li> <li>・年配の人は年配の人なりに、若い人は若い人なりに知恵を出し合う。四国の葉の販売を例にアケビの販売などを考えては。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富里地区での実践。</li> <li>・公民館だけに頼るのでなくまず自分たちで。</li> </ul>
その他の意見		

# 地域シンポジウム報告書（班別）

大塔地域シンポジウム  
G班

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化・人口減。</li> <li>・Uターン者が少ない。</li> <li>・地域産業を望みたい。</li> <li>・子供を育てる環境にはよいが高齢者にとっては難しい。年金生活者が多いので住みにくい面もある。</li> <li>・奥へ行くと外灯等がない。</li> <li>・子育ての面では地域での見守りが必要。</li> <li>・声かけの仕方が難しくなった。（顔見知りではない）</li> <li>・若い人たちが鮎川に住みたくても土地がない。</li> <li>・田舎には嫁が来なくなった。</li> <li>・田舎へ行くほど教育等にお金がかかる。</li> <li>・最後は財政、政治の問題にいきつく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会での大塔音頭を広める。（大塔の良さを残したい。）</li> <li>・公民館とのつながり。</li> <li>・図書館や、公民館で子供が遊ぶ。</li> <li>・各種行事への参加が難しい。（交通の便）</li> <li>・公民館職員の減少化で活動がしにくくなった。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者を大切に、子育てをみんなで。</li> <li>・「田舎ならでは」を残していく。</li> <li>・子供の安全、登校時、下校時の声かけ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の文化を伝えていく。</li> <li>・公民館を通じて横のつながり。</li> <li>・これからの大塔を小、中学生を大切につないでいく。</li> <li>・財政が厳しい中で自分たちが出来ることは自分たちで。</li> </ul>
その他の意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・盆踊り。（各地区での扇子踊り等）</li> <li>・隣近所も含めて心のふれあいが大事。</li> </ul>